

がんは乗り越えられる

大久保さん(茅野市)「生還記」刊行

がんを克服し難病を乗り越えた大久保淳一さん(51)―東京都港区、茅野市宮川出身―が、自身の体験を基に「希望を捨てなければ、がんは乗り越えられる」というメッセージを込めた、闘病からの生還記「いのちのスタートライン」を出版した。

(倉本敦)

大久保さんは、40代の働き盛りで、**睾丸がん**を告知され、**性肺炎**を併発した。思わぬ困難に直面し、そのたびに**けそ**になりながらも、**家族**全身転移、さらに**難病の間質**

や仲間からの支え、病から復帰したアスリートたちの姿から力を得て、病床から社会生活へと復帰した。

本には、大病で不安に悩まされながらも、生きる喜びを実感できる100キロマラソンへの再挑戦を目標に、より高みを目指してチャレンジする姿を記した。

大久保さんは「人生はやり直せる。いつでも何度でもチャンスはある、ということをお伝えたい。自分自身もマラソンを通して証明したかった」と話す。今年6月の100キロ



がんを克服し体験記を出版した大久保さん

マラソンでは、病氣前の自己記録を更新。6日は地元の縄文の里マラソンに出場する。

大久保さんは現在、がん患者支援活動の団体を設立し活動している。講談社発行。46判、240頁。1500円(税別)。

19日に岡谷で

出版記念講演

大久保さんを講師にした出版記念講演会「人生には何度でもチャンスがある」が19日午後3時から、岡谷市塚間町の笠原書店本店2階ギャラリーで開かれる。無料。定員80人。事前申し込みが必要。問い合わせは同店レジカウンターか同店(電話0266・23・5070)へ。